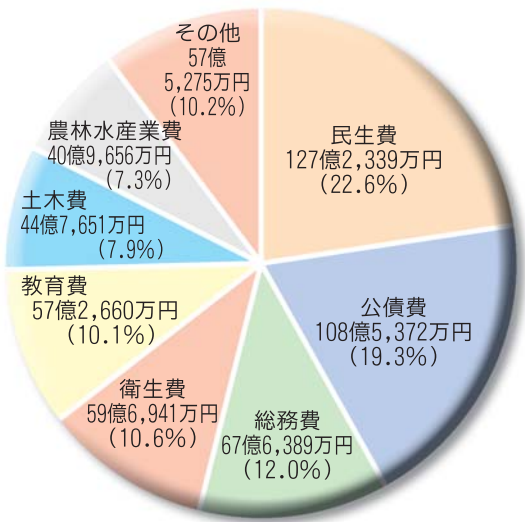


【一般会計】歳出の内訳



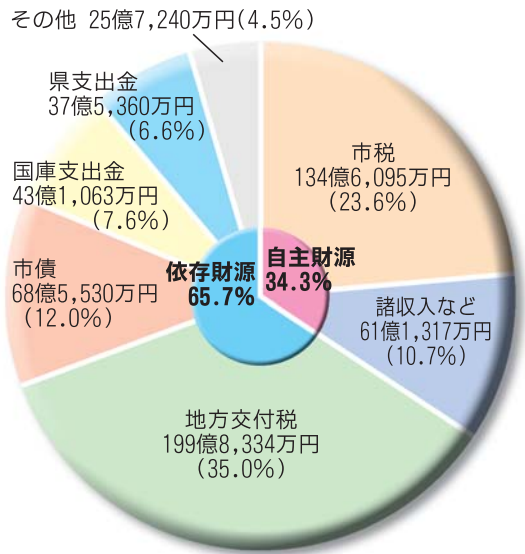
歳出 563 億 6,283 万円

◆性質別歳出決算額内訳 (単位：万円)		
項目名	20 年度	19 年度
人件費	91 億 8,510	93 億 1,415
物件費	62 億 1,079	61 億 0,767
維持補修費	3 億 9,274	3 億 9,702
扶助費	65 億 1,883	64 億 3,705
補助費など	70 億 2,799	66 億 8,656
公債費	108 億 5,365	93 億 5,909
積立金	13 億 6,327	10 億 9,416
投資および出資金・貸付金	17 億 4,041	16 億 2,938
繰出金	66 億 8,776	65 億 8,203
投資的経費	63 億 8,229	66 億 8,215
合 計	563 億 6,283	542 億 8,926

◆目的別歳出決算額内訳 (単位：万円)		
項目名	20 年度	19 年度
総務費	67 億 6,389	72 億 7,312
民生費	127 億 2,339	122 億 1,758
衛生費	59 億 6,941	60 億 7,141
農林水産業費	40 億 9,656	45 億 4,231
土木費	44 億 7,651	46 億 0,764
教育費	57 億 2,660	49 億 8,470
公債費	108 億 5,372	93 億 5,920
その他	議会費	3 億 0,383
	労働費	1 億 0,900
	商工費	19 億 1,560
	消防費	20 億 9,779
	災害復旧費	11 億 9,891
	諸支出金	1 億 2,762
予備費		0
合 計	563 億 6,283	542 億 8,926

※公債費は、借り換えに伴う繰上償還分を含む
(20 年度 17 億 8,070 万円、19 年度 1 億 4,400 万円)

【一般会計】歳入の内訳



歳入 570 億 4,939 万円

◆歳入決算額内訳 (単位：万円)		
項目名	20 年度	19 年度
市税	134 億 6,095	132 億 7,766
諸収入など	分担金および負担金	5 億 4,228
	使用料および手数料	6 億 2,502
	財産収入	1 億 5,986
	寄附金	9,363
	繰入金	22 億 5,772
	繰越金	5 億 4,019
諸収入		18 億 9,447
地方交付税	199 億 8,334	198 億 1,317
市債	68 億 5,530	50 億 3,700
国庫支出金	43 億 1,063	42 億 5,912
県支出金	37 億 5,360	38 億 5,362
その他	地方譲与税	9 億 6,438
	利子割交付金など	5,889
	地方消費税交付金	11 億 1,590
	ゴルフ場利用税交付金	2,960
	自動車取得税交付金	2 億 1,664
	地方特例交付金	1 億 6,060
交通安全対策特別交付金		2,639
合 計	570 億 4,939	548 億 2,945

◆1人当たりの支出額 (単位：円)		
項目名	20 年度	19 年度
金額	44 万 1,000	42 万 1,000
※ 21 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (127,916 人) と、20 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (128,846 人) で計算 ※端数は処理済み		
◆地方債残高 (単位：万円)		
項目名	20 年度	19 年度
金額	821 億 6,256	847 億 2,211



平成 20 年度一般会計の決算状況を表したものが左上にある円グラフです。
まず初めに、1 年間のすべての収入を示す「歳入」は、570 億 4939 万円で、19 年度の決算と比べて 4% の増になりました。
歳入の中で、最も金額が多かったのは「地方交付税」です。全国的に一定の行政水準を保つために国から交付されるもので、199 億 8334 万円が本市に交付されました。
次に、皆さんが直接市に納めた「市税」が 134 億 6095 万円で続きます。市税は、家屋の新築・増築などで固定資産税が増えたため、19 年度と比べ

1・4% の増になりました。
以下、市が長期的に借り入れる「市債」、事業の財源の一部として国から支出される「国庫支出金」の順となっています。
また、自治体の貯金に当たる基金からの「繰入金」が 22 億 5772 万円となっており、19 年度と比較すると 32・4% 増えました。これは、合併のときに旧市町村間で約束した新市建設計画事業を計画どおり行った結果、増額となったものです。
一方、1 年間のすべての支出を示す「歳出」は、563 億 6283 万円で、19 年度と比べると 3・8% の増になりました。
歳出の中で一番大きい割合を占めたのは「民生費」です。保

育施設整備などの経費が増えたため、127 億 2339 万円となりました。以下、市債を返済するお金である「公債費」が 108 億 5372 万円。税務や戸籍の事務などに使われる「総務費」が 67 億 6389 万円。ごみやし尿の処理のほか、環境対策や保健事業にも使われる「衛生費」が 59 億 6941 万円と続いています。
20 年度 1 年間に使われたお金を市民一人当たりで計算すると、44 万 1000 円となり、19 年度と比べて 2 万円の増額となりました。

9 月定例議会で平成 20 年度の決算が審査され、認定されました。厳しい財政状況の中、「副県都」としてふさわしい都市機能を充実させるため、限られた予算を大切に使いました。ここでは、各会計の決算額や昨年行われた主な事業、本市の財政状況などについて皆さんにお知らせします。

【平成二十年度】

決算

■本庁財政課財政係
(内線 443・444)

